



【第3回 市民測定所まつり in 呉竹】

ご協力ありがとうございました！

10月12日に開催しました測定所まつりへのご参加およびご協力、本当にありがとうございました。お子さんも含め、約100名の方にご参加いただきました。ご協力いただきましたみなさまに、厚くお礼申し上げます。

今の国や福島県の方針は、「帰還困難区域（年間50ミリシーベルト以上）」を除く全地域を2017年3月までに解除し、区域外避難者への住宅提供も打ち切るという方向です。まるで放射能が消えてしまったかのようなキャンペーンも強まっています。

当測定所は、原発事故避難者の方の声に応え、避難者の方とともに歩んできました。だからこそ、測定を通じて放射能汚染が広がっていることを示してきました。今回のまつりでも、上映や講演会、写真展などを通じて、放射能からの避難・移住の大切さを訴えさせていただきました。

そして、今回のまつりの意義は、「新たなところへの広がりを作り出した」ところにあると思います。今年できた京都北部測定所さん、もうすぐ開所する「近江測定所」さん、首都圏から滋賀県に避難してきている方など、大きな関心をもって参加していただいたことです。今後につながる展望を見いだした「まつり」となったと思います。

その一方で、当測定所が岐路に立っているのも事実です。測定依頼も減り、会員も減り続ければ立ち行かなくなってしまう現実的な問題があります。市民による市民のための測定所です。ぜひみなさま、いっそうのご支援をよろしくお願いいたします。

2015年10月31日 京都・市民放射能測定所

代表 奥森祥陽

事務局長 佐藤和利